

## PRESTO® A30

### 6Lのガラス反応容器を +150°Cから+20°Cに冷却運転

#### 目的：

このケーススタディでは、PRESTO® A30と6Lのガラス反応容器を接続し冷却能力試験を行います。  
 PRESTO® A30には2mのメタルホースを2本、接続します。  
 PRESTO® A30 は+150°Cから+20°Cに冷却するプログラムで運転を行います。



#### 環境：

室温	+20 °C
湿度	45 %
電源	230 V / 50 Hz

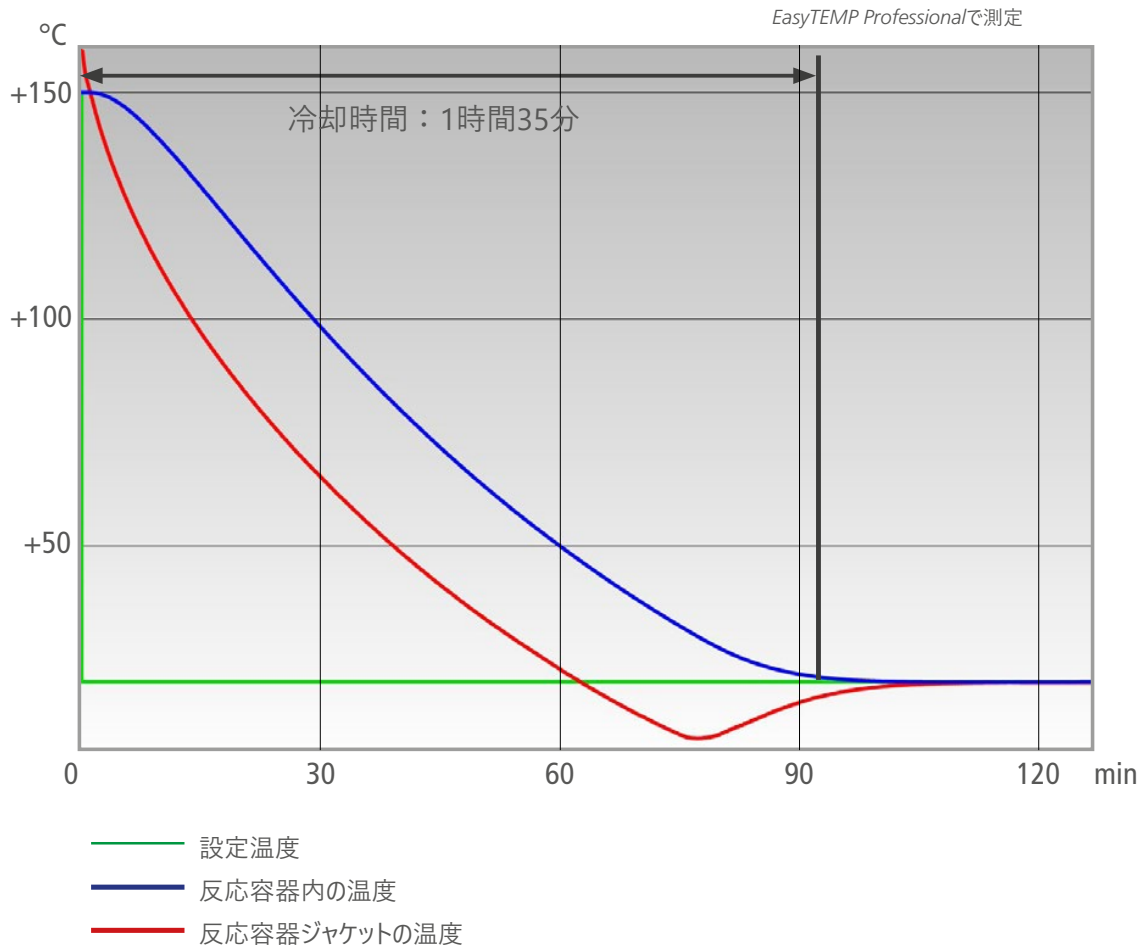
#### 試験条件：

使用機種	PRESTO® A30
冷却能力	+20 °C 0.5 kW 0 °C 0.4 kW -20 °C 0.2 kW
加熱容量	2.7 kW
バンドリミット	設定していません
ポンプ圧	0.5 bar
循環液	ユラボ社製 サーマルHL60
反応容器	6Lガラス製反応容器(QVF) (容器内にはサーマルHL60を5L充填しています)
ジャケット容量	4.5L
温度制御	外部制御(ICC)



試験結果：

PRESTO® A30の冷却時間はアンダーシュートなしで、+150°Cから+20°Cまで1時間35分でした。



情報：

M+Rインラインセンサーを使用すると循環液の温度表示、温度記録が可能となります。



情報：

容器の保護：  
“バンドリミット”機能（上記参照）で、容器内部温度とジャケットの温度差を制限して設定することができます。

Profile of reactor

